カメあら

Camera A la carte

まちの出来事

3/17 交通事故から守るぞ！

（市役所）

高梁のヒーロー・ビッチュマンと市青年経済協議会の会員が市役所を訪れ、反射材付きキーホルダー約250個を寄贈しました。

キーホルダーには、ビッチュマンのシールが貼ってあり、ランドセルなどに取り付けられるようになっています。交通安全に役立ててもらうため、市内小学校の新入生に贈られます。

4/10 FC 高梁吉備国際大学 初戦を白星スタート

昨年チャレンジリーグへ昇格した吉備国際大学女子サッカー部。４月10日に同リーグ西地区第１節が大阪の高槻市陸上競技場で開催されました。対戦相手は昨季優勝チームのスペランツァ FC 高槻。前半戦で1点を先取した FC 高梁はそのまま逃げ切り、初戦を白星で飾りました。次回は４月24日、松原町の神原スポーツ公園多目的広場でジュブリーレ鹿児島と戦います。皆さん応援をよろしくお願いします。

3/20 川上自動車分団と宇治分団が優勝

（なりわ運動公園）

「第７回市消防操法訓練大会」が開催され、ポンプ車操法の部と小型ポンプの部に12チームが出場しました。日ごろの練習の成果を発揮し、ポンプ車操法の部は川上自動車分団、小型ポンプの部は宇治分団が優勝。

両チームは、5月15日㈰に岡山市で行われる県大会に出場します。

3/26 春を届けるコンサート

（総合文化会館）

「第12回スプリングコンサート」（高梁高校吹奏楽部・コーラス部主催）が開催され、市民ら約700人が迫力ある演奏と美しいハーモニーを楽しみました。

「命」をテーマにした曲もあり、東日本大震災の被災地に元気を取り戻してほしいとの気持ちを込めて歌いました。

コンサートの入場料の一部は、義援金として被災地へ送られます。

3/26 留岡幸助の功績を知る

（文化交流館）

「社会福祉の先駆者 留岡幸助講演会」（映画「大地の詩 - 留岡幸助物語」高梁実行委員会・市教委主催）が開かれました。

同実行委員会が、映画の公開に併せ功績を市民に知ってもらおうと開催。市文化財保護審議会委員長の児玉享さんが「若き日の留岡幸助」と題して講演しました。キリストへの入信や同志社英学校への入学、在学時の活動などについての分かりやすい説明に、来場者は熱心に耳を傾けていました。

4/2 平川の歴史を訪ねて

（備中町平川いこいの家など）

「平川歴史散策会」（平川の歴史をかたる会主催）が開かれました。

約100人の申し込みがあったため、3月26日に続き２回目の開催。参加者は1000年の歴史があるといわれる平川の歴史について講義を受けた後、実際に中世の山城跡などを散策し、ふるさとの歴史に触れました。

編集後記

▼公聴広報係で３年間お世話になりました。市民の皆さんに有益な紙面を提供できていたがどうかは分かりませんが、私にとってこの３年間は、とても有意義な時間で、貴重な経験を積むことができました。４月から成羽地域局に異動になりましたが、「職員は全員が広報マン」という気持ちを忘れずに、地域のために頑張っていきたいと思います。（TM）

▼今年度から「広報たかはし」の担当を離れることになりました。５年前、カメラの使い方もよく分からないような状態から携わることとなった広報紙編集。分かりやすく、また皆さんに親しまれる広報紙を目指して、試行錯誤で紙面づくりに取り組んできましたが、毎月締め切りに追われ、なかなか思うようにはなりませんでした。そして、カメラの腕前も一向に上がらず…。

ただ取材などを通じて、多くの皆さんと出会えたこと、自分の暮らすまちについていろいろと新しい発見ができたことは、とても貴重な経験でした。今後、この経験を生かしていければと思っています。（YM）

▼９年ぶりに古巣へ戻ってきました。紙と鉛筆による紙面づくりが中心だった前回の広報時代。今ではパソコンを使った編集に変わり、慣れるまでも弱音は言えません。しかし、いつのも一苦労です。すぐに次の号の発行がやって来ます。町へ飛び出し市民の皆さんの声を聞きながら、市がどんなまちづくりを目指しているのか、皆さんへ分かりやすく伝えることが使命だと思っています。よろしくお願いします。（HO）

▼４月から公聴広報係に配属になり、右も左も分からず・・悪戦苦闘の毎日を過ごしています。

これから多くの経験を積み、一人前の「広報マン」になれるよう頑張っていこうと思います。また、新しいことへの挑戦、初心を忘れず、市民の皆さんと一緒に明るく元気な「高梁市」をつくっていければと思います。よろしくお願いします。（KY）